

タイ視察研修に参加して

タイはゴツタ煮の世界だった。街を歩けばショーウィンドーの前で屋台が店を広げていて、船からはバラックの向こうに美しい寺院が見える。

食事はとてもおいしかった。ただ独特の匂いのある香辛料を使った料理が主流のようで、レストランに入ると匂いが鼻をついた。それからジュースが強烈に甘く、1本20バーツ(約20円)のジュースが飲みきれなかった。

エメラルド寺院は王宮の一部となっていて、大きく2つの意味があるという。一つは寺院での儀式が年中あるために寺を自分の所に持って来た。二つには儀式に出席するための移動時にテロ活動に巻き込まれるのを防ぐため。王はどの世界でも用心深いようだ。

ところでエメラルド寺院は美しい。金ピカリンと表現してもいいほどだ。今では観光地として解放されて

いるこの寺も昔は一般禁制の地だった。自分は寺が美しければ美しいほど、釈然としたものを感じてしまう。タイの古典舞踊は見ていて眠くなってしまう。とにかく



く体の動きが緩らかで微妙なのだ。

ラマ五世の宮殿は広がった。窓を閉めるだけでひと仕事だ。それ程大きい家に住み、その建物を維持できるだ

けの権力を持っているのが王なのだ。ちなみに建てられてから時間が経っているのか少々傾いていた。

夕暮れ時の街並みは活気に満ちていた。交通の便は悪く渋滞は絶えない。建設中のビルが多く、発展途中の国であるとの印象は強い。しかし同時に「発展」の意味に疑問も感じた。ビルが立ち並び自動車が増え水は汚れる。実際水上マーケットのある河は水が異臭を放っていた。

環境問題が深刻化している今「発展」の意味を考えた「援助」の方向も「自動車安く買える国」ではなく「上下水道完備の国」にすべきだと考える。

今回の研修で真の国際化とは、価値感の違いを認識することだと強く感じた。

木戸

大木琢生

選挙管理委員会委員・補充員のみなさんです

8月6日の臨時議会で、選出された選挙管理委員会委員・補充員の方々です。任期は、平成3年8月8日から平成7年8月7日までの4年間で。

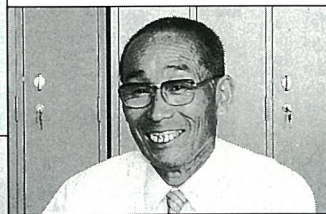


委員長
飯島 栄 (芝崎)

公正・適正・明るい選挙の遂行のため努力します。

委員長職務代理
林 亮 (入)

他の委員の皆さんと共に、誠実に責務を果たしたいと思います。



大木 秀夫 (木戸)

全く無経験ですが、選挙の重要性を考え適正な管理により、公正な選挙が行われるよう精一杯努力します。

関川 忠司
(篠本二区)

人脈に乏しいですが、先輩の皆さんや関係する方々のご指導により一生懸命頑張ります。



(委員に欠員が生じた場合に委員に就任します。)

- 大川 宏 (新井) 越川 和 (橋場)
- 鈴木英夫 (小川台) 鈴木庄示 (五ノ神)

補充員